

健康づくり 生きがいくくり 友だちづくり まちづくり

友の会だより

中野共立健康友の会・広報委員会発行
〒164-0001 中野区中野5-45-4

Eメール: a_nozawa@kenyu-kai.or.jp
Tel: 03-3386-9139

くらしに役立つなんでも相談

健康の悩み、生活・家庭の心配ごとなど、なんでも気軽にご相談ください。



友の会コーナーへ

銃撃を受け、脱落を覚悟。フィリピン北部のバレー峠で敵の北上を阻止するため、昭和20年6月、堅固な要塞を構築し、防衛せる鉄平団(姫路十連隊)隷下に編入。

米軍と対戦するも、突破され、我が中隊はシエラマドレ山脈を越え、北部マデラ転進決定。当時私は敵の銃撃を受け、右脚脛脛部貫通銃瘡。歩行難儀でピノンの谷で静養中であった。

9日か10日位でマデラに到着可能と予測。各人に2日分位の食糧を徴発して携帯するよう、下命

8月15日敵機飛来し、大量のビラ投下。「天皇陛下の命により、8月15日停戦となる」「兵に告ぐ。将校の下に集合し、命を待て」。誰一人信用せず、日本の将校が来て説得。

8月23日ジヨネスで武装解除。トラックでパタングラスへ輸送され、捕虜生活に入る。

バレーの戦いで、若し銃弾が1センチ右を撃たれておれば骨が砕け、パレーに骨を埋めていたことだろう。

8月15日敵機飛来し、大量のビラ投下。「天皇陛下の命により、8月15日停戦となる」「兵に告ぐ。将校の下に集合し、命を待て」。誰一人信用せず、日本の将校が来て説得。

8月23日ジヨネスで武装解除。トラックでパタングラスへ輸送され、捕虜生活に入る。

バレーの戦いで、若し銃弾が1センチ右を撃たれておれば骨が砕け、パレーに骨を埋めていたことだろう。



戦争を語り継ぐ

次世代への貴重な証言

幻の終戦日

中野区江古田
安田 誠 (90歳)



銃撃を受け 脱落を覚悟

7月末頃、人跡未踏といわれる山脈に小池中隊長外、77名入山。私は木の枝で作った杖を頼りに追従したが、2日目からの追従は出来ないと自覚。脱落する外ないと覚悟。2日目行進して間もなく、広大無辺に繁茂せるバラ林に行く手を遮られ、短剣で切り開くも儘ならず、2日余り牛歩。隊員には申訳ないが、私にとつては幸運であった。

「敗戦」 誰一人信用せず

8月15日敵機飛来し、大量のビラ投下。「天皇陛下の命により、8月15日停戦となる」「兵に告ぐ。将校の下に集合し、命を待て」。誰一人信用せず、日本の将校が来て説得。

8月23日ジヨネスで武装解除。トラックでパタングラスへ輸送され、捕虜生活に入る。

バレーの戦いで、若し銃弾が1センチ右を撃たれておれば骨が砕け、パレーに骨を埋めていたことだろう。



平和のつどい

友の会恒例の平和月間の取り組みとして弁護士渡部照子さんをお招きし、憲法学習会を開催しました。

自民党の新憲法草案と現行憲法を比較しながら丁寧に説明していただき、戦争する日本を作る安倍首相の意図が良くわかりました。

憲法改正の発議要件を緩和し、一

般の法律なみにしてしまふことは、立憲主義を根底から否定するものです。「96条の改悪」は「憲法が憲法でなくなる」と9条改憲を主張している人からも立場の違いを超えて批判がわきおこっています。96条も9条も改憲を許さない声を広げ、憲法を守り生かしましょう。

(榎本 博)

共立友の会平和バザー 7/30



多勢の会員から寄附された品物を「もう一声!」などやり取りしながら協力していただきました。すいとん、産直野菜、愛成会の手づくりパンなど併せて、バザーの収益は72,927円になりました。

ご協力ありがとうございました

原水爆禁止世界大会壮行会 7/31



原水禁世界大会(長崎)の代表団、職員6名に多くの患者さんや会員からの千羽鶴とバザーの収益を渡しました。右から2人目は被爆の体験と証言の話をされた鈴木容子さん。

原水爆禁止国民平和大行進 7/24



小雨模様の中、国民平和大行進は杉並の参加者から引き継がれ、健友会からは15人が参加しました。中野の諸団体の方々と一緒に、「核兵器のない世界を」と訴え、新宿まで元気に歩き通しました。

お知らせ

平和映画会「三たびの海峡」

8月20日(火)14時半～
共立診療所4階

日本に強制連行された朝鮮人男性の半生を描く大河ロマン
出演: 三国連太郎 監督: 神山征二郎
南野洋子 1995年 123分

介護施設切望の声

松が丘・上高田5丁目

懇談会



7月3日、上高田5丁目町会会館で、「松ヶ丘、上高田5丁目懇談会」が行われ、暑い中7人が参加されました。健友会介護事業部長の齋藤稔さんから「安倍政権が進められようとしている政策について」のテーマでお話を聞き、懇談しました。

齋藤さんは、今、憲法が改悪されようとしており、「社会保障と税の一体改革」で増税と国民負担、TPPへの参加による農産物の輸入自由化で、農業への打撃と食品の安

全が脅かされ、国民皆保険制度も崩されていくことを、詳しく話されました。

参加者は、「96歳の従姉が要支援になりそう。介護保険はこれからますます使いにくくなるんですか」「地域の人々が救急で入院して、自宅に帰され特養ホームに入れず困っている人が何人もいます。生

きづらい世の中だ」と話し、「国や都がほんとうはやるべきだが、健友会で介護施設を是非、作って欲しい」などの切実な要求も出されました。

懇談の後、山口きよみさんの三味線にあわせてみんなで合唱しました。

(関 雅之)

投稿欄

短歌

戦争を知らぬ大人が増え続ける

わが生きがいは「戦争の語り部」

中野区弥生町 瀧しのぶさん(90歳)

絵手紙



中野区上高田 江田喜久雄さん(82歳)

響け 届け! 鎮魂の演奏

中野共立病院 副院長 山本 英司



東日本大震災から2年3ヶ月たった今年の6月、大震災以後様々

な形で被災地の応援をしてくださっている共

立健康友の会のみなさん

を代表して、役員さん達を被災地に案内する機会を得ました。友の会会長の榎本さんを始め、事務局の2人の協力も得て総勢9人で、宮城県気仙沼市から岩手県宮古市田老に行く行程でした。

支援いただいたふるさと田老へ

こと等の話を聞くことができました。

ちなみに本吉病院は、大震災以降、私や理事長の山田智医師、伊藤洪志医師が医療支援に行った病院です。地域で生活していく中で医療福祉の充実、私たち健友会の目標とも一致しており、共感を得ることができました。

支援いただいたふるさと田老へ

その後、岩手県に入り、主に宮古市田老地区を中心とした被災地を案内できました。大震災以後、私の出身地であったこともあり、友の会、患者さん、職員のみなさんに「田老Tシャツ」を購入していただき、田老の子どもたちに同じTシャツを寄贈することができている地域です。

過去の幾度も津波を経験し、「万里の長城」ともいわれる大防浪堤を持つ田老地区がどのようにして津波被害を被ったか、そしてその後の復旧・復興がどのように行われ、被災者の気持ちなどがどのように変化していったかを、津波被害でホテルの経営継続ができなくなった社長や私の同級生の両親から話を聞くことができました。

トーンチャイムで鎮魂の「ふるさと」演奏

行程の途中、田老地区の名勝、三王岩で、トーンチャイムの「ふるさと」演奏と、わか混声合唱団によるNHK復興支援チームソング、「花は咲く」を合唱し、東日本大震災でお亡くなりになった方々へ鎮魂の意を捧げました。

また、今も仮設住宅で暮らしている私の両親のところでも、同じ演奏・合唱をしていたとき、父親の涙する姿をみて、私も思わず泣いてしまいました。

東日本大震災からの復興はまだですが、原発政策も信じられない方向に向かっていきます。友の会のみなさん、これからも被災地のことを忘れずに、政府の動きにも関心を持ち続けてください。

私たちの仲間

喜ばれる事を共同で

(株)トラストコーポレーション 代表取締役 佐藤 修二



私たちトラストコーポレーションは、2011年に私と社員の数名が友の会の会員になりました。健友会での業務として、中野共立病院、中野共立診療所、茨城県、山梨県に引き

江古田沼袋診療所、川島診療所等で、透析、通所リハビリ、往診の患者様や利用者さんの送迎に携わっている会社です。現在、ドライバーは7〜8名で活躍しています。

友の会の健康まつり等で、年1〜2回、新鮮野菜の産直販売しております。前日に、茨城県、山梨県に引き

翌日、販売しています。民医連のジャンボリーの方々と板橋区の平和公園で、バーベキューなどのイベントも実施しました。30人〜50人くらいの集まりでしたら、椅子、机、テント(雨対策)、コンロ、食器類を完備しています。食材以外であれば、相談して頂ければ、安く、お貸しできます。



平和バザーで産直野菜の販売

2トン車車両、乗用車もあり、運搬、セッティングも致します。希望に応じて用意いたします。

9月には、1泊2日のキャンプも計画しています。

私達の会社は「一人はみんなの為に、みんなは一人の為に、信頼と共同で人と地球の未来を創造する」が経営理念です。

友の会の人、職員の方、患者さんと仲間となり、楽しいいろいろな催事にも参加、協力していききたいと思っています。

若し人達とも交流の場を更に深め、情報交換をする事ができたらいいと思います。

今後一生涯懸命、頑張りますのでよろしくご指導くださるようお願いいたします。

今回の大震災で一番被害が大きかった宮城県石巻市に近い気仙沼市にある本吉病院を訪問しました。被災後人口約1万2千人の地区で一時医療供給体制がなくなつたこと、地域住民や病院職員が自分たちの病院の清掃や再生に向けて奮闘したこと、全国からの医療支援と地区住民の協力で大震災以前より地域の医療と福祉のネットワークが充実されてきている



三王岩でトーンチャイムの「ふるさと」を演奏